

**旭農**

# PTAニュース

編集発行  
北海道旭川農業高等学校PTA事務局

2026年3月1日  
(令和7年度)  
No.152

## 卒業を祝して

PTA会長  
小林 英範



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。人生における大きな区切りの日を皆さんと一緒に迎えることが出来て本当に嬉しく思います。

保護者の皆様におかれましては、お子様が無事に卒業の日を迎えることが出来、喜びも一入の事と思います。

また、校長先生・教頭先生をはじめ三年間を支えてくださった各担任・副担任の先生、そして沢山の時間を共に過ごして頂いた教職員の皆様には、一人ひとりを温かく導いていただき保護者を代表して心より感謝を申し上げます。

私自身、旭農高を卒業後、進学・就職をし苦楽を共にできる仲間や先輩がいる事を今も感じています。当時は同時入社が大勢いって失敗や成功を共有できる仲間や同僚がいまいた。現在は採用人数も少なくなり何でも話せる仲間が本当に大切に、身近な先輩に恵まれることが難しい時代でもあります。様々な理不尽なことに直面する日も少なくない人生が

あると思いますが、そんな時には旭農高の先生や仲間、様々な方面で活躍する多くの同窓生もいることを思い出して頼って下さい。きっとあなたの味方になり応援してくれるはずですよ。「何かに頼る」ことは決して恥ずかしい行為ではありません。その気持ちを振り絞って行動すると悩んでいた事を解決する一歩になるはずですよ。マイナスをプラスへとポジティブに切り替えて明るく楽しい希望にあふれる人生を作っていくて下さい。

PTA及びクラブ後援会の活動に際し、皆様のご理解とご協力のもと無事卒業式を終えることが出来ました事を心より感謝申し上げます。また、引き続き本活動への積極的な参加を頂きます様何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、この伝統ある旭農高を卒業して輝かしい未来へむけて一歩ずつ前進する姿を、本校OBとしていつまでも応援しています。この度はご卒業おめでとうございます。

## 感謝を胸に、新たな学びの舞台へ

校長 赤穂 悦生



PTA・保護者の皆様におかれましては、三年間にわたり、多感で成長著しい子供達を身体的、精神的に育み支えてこられ

た喜びを感じる瞬間ではないでしょうか。その愛情とご苦労に對しまして深く敬意を表します。また、本校の教育の推進につきましまして多大なるご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、旭農の実践を支える環境と充実した施設の中で普通科高校では決して経験することのない実践教育を学んだ三年間によって、これからの社会で生きていくために必要となる力を身に付けることができたと思います。皆さんが今日まで心置きなく勉学に励み、心身ともに成長できたことは、家族や友達、先生方の温かい支えがあったから、そのようなことを心にとめて、感謝の気持ちを忘れずに受け身の立場から自らを教育するという非常に責任のある立場になります。その大きな意味は、高校を卒業してから本当の学びが始まるという事です。卒業して、自分で自己の能力を鍛える学びを実践していくことはとても大事なことです。自分でも気付いていない才能を早く見つけ出し、伸ばしてほしいと思います。そのためにも、自分の行動を客観的に見つめる目を養い、多角的な広い視点を持つて物事を見るようにしてください。また、これらの連続だと思えます。この苦難を自力で

だけ乗り越えることができるかによって、その人間の「人格」が高められていくのではないかと思います。人は、本当に弱い生き物です。嫌なことがあると安易で楽な方向を選びがちになります。できることなら現実から逃れたいと考えます。しかし、そこから得るものは何もありません。現実を直視し、そこに立ち向かっていく気構えがあれば例え

それが失敗したとしても得るものは大きく、後に有形無形の自分の財産となって蓄積されていくと私は思います。高校生活は、皆さんにとって楽しいことばかりではなかったと思います。人間関係に悩み、苦しみながら直面する現実涙を流す場面もあったと思います。しかし、それに耐えて頑張ったことは、皆さんにすばらしい財産を残したと思います。ぜひこの経験を生かし、社会の発展に寄与できる逞しい社会人に成長する努力を続けてください。

今年度のPTA活動も小林会長をはじめ、役員並びに会員の皆様のご理解とご協力により、滞りなく終了することができました。心から感謝申し上げますとともに引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 卒業に寄せて

農業科学科

加賀 陽葵



たくさんのことがあった三年間を振り返ると、とても実りのある高校生活を送ることができました。

緊張な面持ちで迎えた入学式。はじめて会う人ばかりでも心配でした。コロナ制限解除後初めての旭農祭では、休日クラス全員で登校し、クラスパフォーマンスの練習。苦勞した分、今度は皆が笑顔で踊り切ることができました。

二年生では専攻班活動が本格的にスタート。先輩や外部関連団体の方々と積極的に関わって、コミュニケーションも上手にとることのできるようになりました。修学旅行は関西、東京へ行き、普段では味わうことのできない町並みや風景にとっても感動しました。

三年生では、プロジェクト活動に全力で取り組まれました。休日返上で頑張ってくれた皆

さん、本当にありがとうございました。また、進路活動が本格化し、進路実現に向けて駆け抜けました。我々のために尽力してくださった担任の岸本先生をはじめ、多くの先生方のご指導により、進路を決定することができました。三年間ありがとうございました。

食品科学科

才川 将



お世話になった皆さんへの感謝  
入学前はとても長いと考えていた三年間は、今思えばあつという間で寂しさを感じていました。一年生の頃はまた何とかわらず学校生活を送るのに必死でした。初対面の人も多く、食品科学科は男子が少ないので周りと早く仲良くしたいと考えていたことを覚えていました。

二年生はイベントの連続でした。親しくなれた友人たちとの旭農祭や体育祭は、一年生の時よりも盛り上がりとても楽しく思えました。そして見学旅行では、より深くみんなの内面にふれることができました。

三年生では進路活動が本格的になり、遊べる機会も少なくなりました。そんな中でも息抜きと称して遊んだ時間は辛い気持ちを和らげ、支えとなってくれました。

最後になりますが、私たちがここまで育て間近で見守ってくれた家族、校則に厳しかったけど私達のことをたくさん考えてくれた梅田先生、専攻班でお世話になった食品科学科の先生、そして関わったすべての方々に感謝をこめて伝えさせていただきます。三年間本当にありがとうございました。



# 森林科学科

佐野 智優



三年間を振り返ると様々なことがありまして。初めは、女子の少ない森林科で上手くクラスになじめるか、不安がた

さんありました。ですが、優しく愉快なクラスメイトが多く不安もだんだん消えていきました。一年生の一番の思い出は黒岳登山です。山に登るのが初めてで、辛くて「帰りたい」と文句を言いながら列の一番後ろで登っていました。ですが、登りきった時の達成感と綺麗な景色に感動しました。三年間の一番の思い出はやはり見学旅行です。初めて関西に行き、様々な文化に触れ、とても思い出に残っています。夜にみんなでマックを食べたり、トランプで遊んだりして大盛り上がりしたあの夜は忘れられない一番の思い出です。最後に、優しくも厳しかった森林科の先生方、保護者の方。そして、クラスの中でも様々なことがあり大変でしたが、最後まで見捨てずに私たちの面倒を見てくださった担任の三澤先生。三年間本当にありがとうございました。

# 生活科学科

門口美羽花



気づけば、私たちが入学してから三年という月日が経ちました。振り返ると、想像していたようなキラキラした高校生活ばかりではありませんでした。私たちのクラスは唯一の女子クラスで、女子特有のトラブルが多かった三年間でした。

学校祭では意欲に差があり、喧嘩が絶えなかったこともありまして。些細な一言や態度の行き違いから誤解が生まれ、すれ違ったこともありました。しかし、それは仲が良いからこそ本音でぶつかり合い、たっくさんの壁に向き合ってきた証だと思えます。三年次最後の学校祭では、全員が協力しあい、パフォーマンスで三位を獲得することができ、とてもいい思い出になりました。そんなクラスを指導して、ださる先生方には、沢山の迷惑をかけてしまったと思えます。担任の川口先生、副担任として支えてくださった久澤先生、富田先生。三年間ありがとうございました。そして、自分自身を見直し、成長するきっかけをくれた三上先生、たくさん笑って、喧嘩して、時は流れて、色々なことがあったけれど三上のみんなと出会えてよかったです。三年間ありがとうございました。

## 一年を振り返って

### 一学年主任

峯田 英恵



「光陰矢のごとし」と申しますが、月日の経つのは早いもので、入学からまもなく一年が過ぎようとしています。皆様には、学年の諸活動に対し日頃よりご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この一年間、一年生にとっては戸惑いの連続だったのではないのでしょうか。決められた時間に行動するための時間管理、効率よく作業を進めるための手順や計画の立て方、そして周囲と協力しながら取り組む協調性など、さまざまな実習や活動を通して多くのことを学んできました。また、中学校までは幼稚園・保育園、小学

校から続く「なじみ」の関係の中で生活してきた生徒も多く、共通の価値観に支えられていた場面もあったかと思えます。しかし高校校では環境が一変します。「自分にとって当然のことが、相手にとっては当然ではない」「これくらい大丈夫だろう」が通用しない。そんな場面に戸惑いながら、仲間との関係づくりに苦労する姿も見られました。それでも生徒たちは互いに歩み寄り、言葉を交わし、安心して過ごせる空間を作ろうと努力を重ねています。その姿には頼もしさも感じられます。「光陰矢のごとし」には、放たれた矢が戻ってこないように、一日一日を大切に過ごすべきだという教訓が込められているそうです。これからも生徒一人ひとりが日々の学校生活を大切に、確かな成長を積み重ねていけるよう、学年一同努めて参ります。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 二年を振り返って

### 二学年主任

持田 和寿



一年生の時、徹底してルールを守ることで、集団生活のあり方、課外活動への参加、挨拶や礼儀、自主性や自律など、「当たり前」のことを当たり前と日常行動すること」を様々な場面で求められ、日常こそ大切であることを再認識する一年だったと振り返りました。二年生になり、少しハードルを高く「中堅学年としての信用の基盤を築き、信頼を構築する態度を育むことを意識して生活すること」を目標としてきました。信用を積み重ねて信頼を得ることの難しさを多くの生徒が実感したのではないのでしょうか。とくに、二年生は生徒会や農業クラブ活動、部活動などで要職に就く生徒も多く、自身だけの責任ではなく、集団としての責任が求められる、その立場や役割に係るプレッシャーもあったのではないのでしょうか。しかし、この一年、一年時で根付いた基盤が崩れることなく、二年生になって大きく成長したと二年生の担任団は感じています。日常生活で一年生のお手本と

なれる生徒、学校祭や体育祭で活躍するクラス、何より見学旅行を丸とって成功させた学年であることに自信を持ってほしいと思います。来年度は三年生になり、求められる事や質はさらに高くなるでしょう。みなさんの活躍を大いに期待しています。さいごに、保護者の皆様には、日頃から本校はもとより、二年生の教育活動や方針についてご理解とご協力をいただき、この場をお借りして感謝の意を表します。来年度は最高学年として恥ずかしくないよう、また第一志望の進路実現を目指し励んでいきますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

## 卒業担任より

### 「特別な日」のその先へ

三A担任 岸本 修



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いよいよこの日がやってきたね。三年間という月日は、今振り返ってみると本当に「あっという間」だったのではないのでしょうか。皆さんにとって、この三年間はどのような時間でしたか？私は、これまでの日々の中で何度か皆さんに「卒業したくない、手を挙げて」と問いかけたことを思い出します。その際、いつも約半数の手が挙がった光景が、今も鮮明に焼き付いています。今日、この卒業の日と同じ質問をしたら、一体どれだけの手が挙がるのでしょうか。非常に興味がありますが、たとえ「まだここにいたい」と願ったとしても、今日をもって皆さんは卒業しなければなりません。それが今日という「特別な日」の意味なのです。入学したあの日、見ず知らずの顔ぶれに囲まれ、教室で緊張に身を硬くしていた皆さん

の姿を覚えていきます。それがいつしか打ち解け合い、三年経った今はどうでしょう。「もう少し緊張感を持ってほしい」とこちらが感じるほど、リラックスした賑やかな日々を共に過ごすことができました。明日からは、それぞれが自ら決めた道を一歩ずつ進んでいくこととなります。その先には、皆さんの努力次第でどこまでも広がる明るい未来が待っています。どうか健康に留意して、自分らしく歩んでいってください。皆さんの今後の活躍を心から期待しています。最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の卒業を心よりお祝い申し上げます。担任として至らない点も多々あったかと思いますが、皆様温かいご理解とご協力に支えられ、今日という日を迎えることができました。三年間、本当にありがとうございました。

## 胸を張って新しい世界へ

三M担任 梅田 英一



令和五年度に入学した百二十三名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日まで、お子様を慈しみ、支えてこられた保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。三年間、本校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。振り返れば三年前、この学年は「基本的な生活習慣の確立」をはじめとする四つの柱を掲げてスタートしました。入学当初、私たちは生活習慣についてあえて厳しく指導を行いましたが、生徒の皆さんは戸惑ったかと思いますが、それは社会へ出るための土台作りでもありました。今、立派に成長した姿を目の当たりにし、あの時の厳しさを確かな成長へと繋げてくれた皆さんの強さを感じています。学校生活の中でも、特に二年次の見学旅行（京都自主研修）での姿が印象に残っています。慣れない土地でスマートフォンを手に試行錯誤しながらも、自分たちで決めた「世界遺産を見学する」というミッションを完遂し

た経験は、大きな自信になったはずですが、農業クラブの全国大会や各部活動での活躍、そして後輩を導くリーダーシップなど、皆さんは本校に新しい風を吹き込んでくれました。

進路決定においても、先生方と二人三脚で何度も面接練習や作文に励み、粘り強く自らの道を切り拓きました。すでに進路を決めた人も、今まさに挑戦を続けている人も、皆さんが注いだ努力は決して裏切りません。百二十三名の皆さん、本校で得た「豊かな心」と「確かな技能」は、これからの人生の強い味方です。どうか、これまで支えてくれたご家族への感謝を忘れず、胸を張って新しい世界へ踏み出して下さい。

### この先に進む皆さんへ

三F担任 三澤 成貴



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様もお子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。

この三年間で様々な経験を重ねた君たちが、一生に一度の高校生活で得たものとは何でしょう。高校生活を終え、それぞれの進路へ踏み出す今、これまで当たり前だった学校という環境は一区切りを迎えます。これからは日々のホームルームでの小うるさい指摘や生活指導はなく、一人の社会人・学生として自律した行動と結果だけが求められます。自由という言葉は魅力的ですが、その裏には常に責任が伴います。自ら起き、身支度を整え、予定を立て、仕事や学業、アルバイトや課題に向き合いながら一日一日を積み重ねていく生活は、決して容易ではありません。

新生活に胸を躍らせる一方で、五月の連休頃に実家へ帰ったり、自分の時間を得た際には、ふと高校の窮屈ながらもあつという間に過ぎ去った日々を懐かしく思う瞬間もあるで

しょう。しかし、もう過ぎ去った時間は二度と訪れることはありません。H・G・ウエルズの小説『タイム・マシン』に「私たちはみな実はタイムマシンの持っている。過去に連れていってくれるのが夢だ」という一節があります。この先広がる世界で未来を形づくるのは皆さんの努力と行動です。時々過去の思い出にも力を借りながら、夢を一つずつ現実にして、自らの人生を豊かに明るいものへと切り拓いてください。

### 三年間を糧にしてください

三L担任 川口 巧



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、期待と不安が入り混じった表情で教室に集まっていたことを今でも鮮明に覚えています。

皆さんは、私にとって教師人生で初めて送り出す卒業生です。手探りで始まった三年間でしたが、気づけば私の方が皆さんに育てられたと感じています。行事の準備での衝突を初めとして、悩みながらも前に進もうとしていた姿勢は、これからの人生の土台になるのではないのでしょうか。

保健体育教員として三年間を振り返ると、思うように体が動かさず悔しそうな顔や技が成功したときのうれしそうな表情が印象的です。特にスキー授業は、農業高校で最後の学年になってしまいましたが、スキーという道具を使って交流することができ、和気藹々と活動していたことが脳裏に焼き付いています。最後にはなりましたが、保護者の皆様にご協力いただきました。大変感謝しています。ありがとうございます。至らぬ点もあつたかと思いますが、ご家族・ご家庭のご協力のおかげで三年間の成長を支えることができた。また、家庭でも指導をしていただき、学校と家庭の両方で生徒を育てて行けたのでは

ないかと思つています。大変ありがとうございます。これから先、壁にぶつかるともあると思います。しかし、皆さんには、乗り越えてきた三年間があります。自分を信じ、仲間を信じ、胸を張って立ち向かってください。

### 高体連・高文連などの記録

◆野球部  
◎第78回秋季北海道高等学校野球大会旭川支部予選  
1回戦  
対 旭川永嶺 4-5

◆ソフトテニス部  
◎第55回北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会(個人戦)  
個人種目・女子ダブルス  
渡辺(2M)菅原(2M)  
女子シングルス  
菅原(2M)  
1回戦敗退

◎第51回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会旭川支部予選会  
団体種目・予選リーグ  
対 旭川西 1対2  
対 旭川商業 1対2  
対 留萌 2対1  
予選リーグ敗退

女子団体 予選リーグ  
対 旭川明成 3対0  
対 旭川北 1対2  
対 旭川東 1対2  
予選リーグ敗退

◎第62回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会 旭川地区予選会  
個人種目・男子ダブルス  
菊地(1A) 武市(2F)  
日下(1A) 中川(1A)  
松澤(2F) 金子(2F)  
笠井(2A) 澤山(2F)  
全道代表決定戦  
日下(1A) 中川(1A) 0-4 敗退  
女子ダブルス  
加藤(1L) 他校ペア  
強力(2L) 伊藤(2M)  
菅原(2M) 渡辺(2M) 2回戦敗退

全道代表決定戦  
菅原(2M) 渡辺(2M) 1-4 敗退

◆卓球部  
◎令和7年度第78回北海道高等学校卓球選手権大会旭川支部予選会  
男子団体 予選敗退  
詩田(3A) 中山(3F) 稲田(2A)  
松本(2F) 白川部(1A) 上野(1F)  
松倉(1F) 佐藤(1L)  
女子団体 第3位  
鈴木(3M) 齋藤(3F) 半澤(2M)  
中西(2M) 稲井(2L) 鎌田(2L)  
田中(2L) 佐々木(1M)  
男子ダブルス  
松倉(1F)・白川部(1A) ペア  
詩田(3A)・中山(3F) ペア  
上野(1F)・佐藤(1L) ペア  
1回戦敗退

女子ダブルス  
鈴木(3M)・稲井(2L) ペア  
半澤(2M)・佐々木(1M) ペア  
中西(2M)・鎌田(2L) ペア  
齋藤(3F)・田中(2L) ペア  
3回戦敗退  
松倉(1F) ペア  
松倉(1F) ペア  
上野(1F) ペア  
1回戦敗退

男子シングルス  
松倉(1F)  
詩田(3A)  
大竹(3A)  
中山(3A)  
稲田(2A)  
白川部(1A)  
上野(1F)  
佐藤(1L)  
女子シングルス  
鈴木(3M)  
齋藤(3F)  
稲井(2L)  
半澤(2M)  
田中(2L)  
鎌田(2L)  
佐々木(1M)  
中西(2M)  
予選会  
一般シングルス 男子  
白川部(1A)  
松倉(1F)  
3回戦敗退

稲田(2A) 2回戦敗退  
松本(2F) 2回戦敗退  
上野(1F) 1回戦敗退  
鈴木(1M) 1回戦敗退  
妻沼(1F) 1回戦敗退  
堀家(1F) 1回戦敗退  
佐藤(1L) 1回戦敗退  
一般シングルス 女子  
稲井(2L) 4回戦敗退  
半澤(2M) ベスト16 全道大会出場  
佐々木(1M) 3回戦敗退  
田中(2L) 3回戦敗退  
中西(2M) 1回戦敗退  
半澤(2M) 1回戦敗退  
鎌田(2L) 1回戦敗退  
男子ダブルス  
松倉(1F)・白川部(1A) ペア  
3回戦敗退



男子シングルス  
松倉(1F) ペア  
上野(1F) 4回戦敗退  
松倉(1F) 3回戦敗退  
稲田(2A) 2回戦敗退  
妻沼(1F) 2回戦敗退  
佐藤(1L) 2回戦敗退  
松本(2F) 1回戦敗退  
白川部(1A) 1回戦敗退  
鈴木(1M) 1回戦敗退  
堀家(1F) 1回戦敗退  
ジュニアシングルス女子  
稲井(2L) ベスト16 全道大会出場  
佐々木(1M) 2回戦敗退  
田中(2L) 2回戦敗退  
中西(2M) 1回戦敗退  
半澤(2M) 1回戦敗退  
鎌田(2L) 1回戦敗退  
男子ダブルス  
松倉(1F)・白川部(1A) ペア  
3回戦敗退

- 妻沼 (1F)・堀家 (1F) ベア 4回戦敗退
- 上野 (1F)・佐藤 (1L) ベア 1回戦敗退
- 女子ダブルス 1回戦敗退
- 中西 (2M)・鎌田 (2L) ベア
- 半澤 (2M)・佐々木 (1M) ベア 2回戦敗退
- 稲井 (2L)・田中 (2L) ベア 2回戦敗退
- ◎2025年北海道卓球選手権大会兼全日本卓球選手権北海道予選会
- 会場：北方スアリーナ札幌46(中央体育館)(全道大会)
- シングルス女子 2回戦敗退
- 稲井 (2L) 2回戦敗退
- ◎2025年北海道卓球選手権大会兼全日本卓球選手権北海道予選会
- 会場：◎栗林商会アリーナ(全道大会)
- ジュニアシングルス女子 1回戦敗退
- 稲井 (2L) 1回戦敗退
- ◎全旭川高校生新人卓球大会兼第53回北海道高等学校選抜卓球大会旭川支部予選会
- 男子団体：決勝トーナメント 1回戦敗退
- 女子団体：代表決定戦 勝利
- 全道大会出場
- 男子ダブルス 全道大会出場
- 松倉 (1F)・佐藤 (1L) ベア
- 松本 (2F)・妻沼 (1F) ベア 1回戦敗退
- 稲田 (2A)・堀家 (1F) ベア 1回戦敗退
- 上野 (1F)・白川部 (1A) ベア 1回戦敗退
- 女子ダブルス 1回戦敗退
- 半澤 (2M)・鎌田 (2L) ベア
- 中西 (2M)・田中 (2L) ベア 3回戦敗退
- 稲井 (2L)・佐々木 (1M) ベア 2回戦敗退
- 男子シングルス(選抜男子) 2回戦敗退
- 上野 (1F) 4回戦敗退
- 松倉 (1F) 3回戦敗退
- 稲田 (2A) 2回戦敗退
- 白川部 (1A) 2回戦敗退
- 妻沼 (1F) 1回戦敗退
- 佐藤 (1L) 1回戦敗退
- 松本 (2F) 1回戦敗退
- 鈴木 (1M) 1回戦敗退
- 堀家 (1F) 1回戦敗退
- 女子シングルス(スーパ女子) 2回戦敗退
- 中西 (2M) 2回戦敗退
- 稲井 (2L) 2回戦敗退
- 鎌田 (2L) 2回戦敗退
- 佐々木 (1M) 2回戦敗退
- 半澤 (2M) 1回戦敗退
- 田中 (2L) 1回戦敗退
- ◎第53回北海道高等学校選抜卓球大会
- 会場：苫小牧市総合体育館(全道大会)
- 女子学校対抗 Dブロックトーナメント 3回戦敗退 全道ベスト16
- ◆陸上部
- ◎第35回道北春季陸上競技選手権大会
- 5月10日(土) 旭川市花咲陸上競技場
- 男子走高跳 7位 西尾 柊哉(1M)
- 男子円盤投(1,750kg) 4位 牧野 蓮夢(2F)
- ◎第78回北海道高等学校陸上競技選手権大会
- 旭川支部予選
- 5月21日(水) 23日(金) 旭川市花咲陸上競技場
- 男子5000m 6位 佐藤 真基(2F)
- 男子走高跳 8位 西尾 柊哉(1M)
- 男子円盤投(1,750kg) 3位 牧野 蓮夢(2F)
- 女子走高跳 6位 村上ひかり(3F)
- ◎第78回北海道高等学校陸上競技選手権大会
- 6月17日(火) 20日(金) 旭川市花咲陸上競技場
- 男子5000m 出場 佐藤 真基(2F)
- 男子円盤投(1,750kg) 出場 牧野 蓮夢(2F)
- 女子走高跳 出場 村上ひかり(3F)
- ◎第41回旭川支部高等学校陸上競技秋季大会
- 8月23日(土) 24日(日) 旭川市花咲陸上競技場
- 男子1500m 8位 佐藤 真基(2F)
- 男子5000m 5位 佐藤 真基(2F)
- 男子走幅跳 7位 尾田 樹暉(1F)
- 男子砲丸投(6,000kg) 6位 荒尾 陵斗(2F)
- 男子砲丸投(6,000kg) 8位 牧野 蓮夢(2F)
- 男子円盤投(1,750kg) 4位 牧野 蓮夢(2F)
- ◎第41回北海道高等学校新人陸上競技大会(帯広)
- 9月24日(水) 26日(金) 帯広の森陸上競技場
- 男子5000m 出場 佐藤 真基(2F)

- 男子円盤投(1,750kg) 出場 牧野 蓮夢(2F)
- ◆演劇部
- ◎令和7年度北海道高等学校文化連盟上川支部演劇発表会
- 優秀賞
- ◆書道部
- ◎第76回北海道学生書道展
- 特選
- 1M 入江 光輝
- 佳作
- 3M 遠藤 杏珠
- 2A 斎藤 尊
- 1A 南原 果蓮
- 1M 最條 奈月
- ◆吹奏楽部
- ◎第18回定期演奏会 開催
- ◎第57回北海道アンサンブルコンテスト旭川地区予選
- 金賞(管打八重奏)
- 尾形 祐音(3M)
- 森本凛々愛(3M)
- 佐野 智優(3F)
- 高橋 仁奈(3L)
- 内海 空(1A)
- 境 亜希斗(1A)
- 小竹 美優(1L)
- 佐藤 咲那(1L)
- 分野Ⅰ類【農業生産・農業経営】
- 最優秀賞
- 農業科学科(畜産班)
- 発表題目：食品廃棄物を活用した飼料費削減に関する研究
- 優秀賞
- 食品科学科(乳加工班)
- 発表題目：旭農の牛乳に付加価値を！2025 鍾乳洞チーズブランド化への道

- 分野Ⅱ類【国土保全・環境創造】
- 最優秀賞
- 食品科学科(地域資源活用班)
- 発表題目：バガースで生まれる新たな資源循環型農業モデル
- バガースの新たな可能性を見つけ、ゼロカーボンへ一歩前進
- 優秀賞
- 森林科学科(林産加工班)
- 発表題目：上川林業アップグレード事業2025「木製リーフミラー」の製作
- 上川町の森と人をつなぐオリジナル製品の開発
- 分野Ⅲ類【資源活用・地域振興】
- 最優秀賞
- 農業科学科(水稲班)
- 発表題目：北方型稲作の更なる可能性の追求
- 旭農高日本酒プロジェクト
- 「北の灘地域の未来を繋げSeasons」
- 優秀賞
- 食品科学科(地域資源班)
- 発表題目：北限のさつまいも産地化プロジェクト
- さつまいもが繋ぐ「ひと・もとのこと」
- 北北海道実績発表大会は令和8年6月10日(水) 11日(木) に新津川農業高等学校にて行われます。

**令和7年度  
農業クラブ実績発表大会結果**

